

“わたしのまち”

中央区

誰もが行きたくなるまち、魅力いっぱい中央区

「江戸バス」で巡る人気スポット観光ぶらり旅

中央区は、江戸開府以来400年にわたってわが国の文化・商業・情報の中心として発展してきた由緒あるまちです。銀座や築地、日本橋など観光客に人気のスポットも多く、たくさんの方が訪れます。過ごしやすく散策にぴったりのこれからの季節、まち歩きに便利なコミュニティバス「江戸バス」を利用して、区内の人気エリアを巡ってみませんか。



区民や観光客に利用される中央区コミュニティバス。“江戸バス”という愛称は300件の公募の中から、区にふさわしく、覚えやすく、親しみやすい名として選ばれた

日本を代表する魅力あふれるまち

中央区はその名の示すとおり、東京23区のほぼ中央に位置し、23区の中でも小さい区の一つですが、江戸以来400年にわたって文化・産業・経済・情報をリードしてきたまちです。

日本一のショッピングストリート・銀座、食の拠点として海外にも名を知られる築地、江戸五街道の起点でもある歴史ある日本橋、日本のウォール街・兜町、下町情緒あふれる商店街が残る人形町、東京の玄関口・八重洲、佃・月島・晴海の長大なウォーターフロントなど、日本を代表する数多くの人気スポットをもつ、小さくとも魅力にあふれた都心のまちです。
歴史や伝統、古くからの文化が息づ

くまちながら、最先端の流行やファッションにも触れることができる場所として、飲食や観光、ショッピングを目的に、日本だけでなく海外からも多くの観光客が訪れます。

個性豊かな人気エリア

近年まちの再開発が進み、商業施設が続々とオープンし話題になっている日本橋。古くから江戸の中心として繁栄してきたこの地域は、紺色の暖簾の下がる大店と築地市場の前身である魚河岸が隣り合い、江戸時代から活気があふれていたまちです。この地域には国指定重要文化財となっている名橋「日本橋」や日本銀行本店旧館、百貨

四季折々に開催されるさまざまなイベントも楽しい。写真は左上より、10月に開催される、大江戸活粋パレードが見所の「日本橋・京橋まつり」、銀座の秋の風物詩「銀茶会」、花の絨毯が美しい「フラワーカーペット晴海」の様子



店の建築で初の重要文化財の指定を受けた日本橋高島屋など日本を代表する近代建築や貴重な史跡が集中しており、ショッピングを楽しみながら見てまわることがができます。

区を代表する繁華街として、百貨店やブランドショップが建ち並ぶ、ファッションのまちとして人気を博してきたのが銀座です。『世界の銀座』として国内外にその名は知られ、海外からも多くの人が訪れます。全国に先駆けて歩行者天国を実施したことでも有名で、美しい街並みや静かな路地は散策にぴったり。町中に点在する画廊を巡るアート探訪ができるのも銀座ならではです。

区内のエリアで銀座と並んで外国人観光客に人気なのが、フィッシュマーケットのある築地です。日々、食のプロや国内外からの観光客でにぎわっている築地場外市場は、約400店が並ぶ庄巻の商店街。プロが買い出しに訪れる本格的な品揃えの店で、買い物や飲食を楽しめます。

一方、江戸の下町情緒を今なお残すまちが人形町界隈です。この地域は江戸時代より人形浄瑠璃や歌舞伎をはじめ、庶民の娯楽が多く集まる場所です。

た。昔ながらの趣ある商店街や老舗の伝統工芸店が残っており、近年江戸情緒を味わうまち歩きスポットとして注目を集めています。

また、もんじゃ焼きで知られる月島も人気のまちです。明治以降の埋め立てによって誕生した中央区でもっとも新しいエリアにあり、約60軒のもんじゃ屋が並ぶ通称『もんじゃストリート』には、香ばしいソースのいいにおいが漂います。魚介入り、デザートもんじゃなど店によって種類はいろいろ。食べ歩いて比べてみるのもいいでしょう。

そのほかにも区内には、オフィスビルから老舗店、美術館など様々な顔をもつ京橋、二軒長屋が江戸のにおいを漂わす佃などの人気スポットがあり、どのスポットにもたくさんのお見どころがあります。時間をかけてゆっくりまわってみると、行ったことのある場所でも新しい発見があるかもしれません。

食のプロ御用達の店で買い物できる場外市場

築地

食の拠点として築地ブランドを定着させた歴史ある築地市場のあるまち。場外市場では一般客も気軽に買い物ができる。エキゾチックな外観が人目を引く築地本願寺や都内でも屈指の名園、浜離宮恩賜庭園もみどころ。



華やかで洗練された上品なまち

銀座

古くから続く喫茶店や洋食屋、最先端のファッションブティック…古いものと新しいものが混在する魅力的なまち。表通りから裏通りにかけて、路地なども多く、銀座をぶらぶら歩く“銀ぶら”が楽しい。



水辺や運河に囲まれた下町情緒たっぷりのまち

月島

もんじゃストリート沿いにある月島もんじゃ振興会では、もんじゃ焼きセットやもんじゃTシャツなどユニークな月島土産を購入できる。月島から少し足をのびて隣の佃に向かうと、江戸時代の長屋や路地の風景を見ることができる。



江戸の風情が残る下町の散歩道

人形町

和菓子、寿司、伝統工芸品などの老舗が並ぶ甘酒横丁や安産祈願で知られる水天宮が人気。季節ごとに祭りやイベントが開催され、多くの人でにぎわう。毎年10月にはべったら市や人形市が開かれる。



多彩な魅力!

中央区

人気スポット

中央区には観光客が多く訪れる人気エリアがたくさんあります。それぞれが比較的近くにあるので、エリアをはしごするのもおすすめです。



五街道の出発点となった江戸の中心街

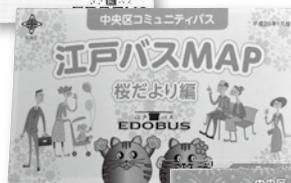
日本橋

近年「COREDO (コレド)」などの商業施設が続々と建設され、新しい名所が生まれつつある。日本橋のためには現在の日本橋が架橋100年を迎えた平成23年に日本橋船着場が整備され、水上散歩が楽しめる。





さまざまなテーマで区の魅力を発見できる「江戸バスマップ」。区民にも好評で、掲載されている場所へマップ片手に訪れる人も多い。マップは区役所や出張所、区民館、図書館など区の関連施設で手に入れることができる



「江戸バス」で観光ぶらり旅

見どころの多い中央区、いろいろな見てまわるには、区内を縦横に走る9つの地下鉄路線の利用も便利ですが、まちの景色を見ながら移動できるバスもおすすめです。

区内には平成21年12月から運行を開始したコミュニティバス「江戸バス」が走っています。区役所を起点に、東京駅や日本橋、人形町などをまわる北循環と、築地や月島、晴海、勝どきをまわる南循環の2ルートあり、区内まち巡りにぴったり。ほぼ20分間隔で運行しているので、全路線1日乗り放題の1日乗車券(300円)を利用

すれば、気軽に乗り降りできて観光やショッピングに便利です。

この江戸バスは、平成28年3月には乗客が300万人を突破しており、区民だけでなく、たくさん観光客が観光の足として利用していることがわかります。

区では、江戸バスを利用して区内に広がる多彩な観光スポットを気軽に訪れてもらおうと、さまざまなテーマごとの江戸バスマップを作成しています。お花見マップ付きの「桜だより編」、区内に点在する文化財をまわることでできる「史跡めぐり編」、区が舞台となった作品のゆかりの地を紹介する「映画・ドラマ・小説の舞台編」など、マップを利用すればひと味違う、趣向をこらしたまち巡りを楽しめます。

中央区初の公的観光案内所が開業

現在、国内を訪れる外国人観光客は増加の一途をたどっていますが、人気エリアである銀座と日本橋のどちらからでもアクセスでき、東京駅からもほど近い場所に、今年11月、中央区がはじめて公的な観光案内所をオープンします。

新しく開設される「中央区観光情報

2016年11月19日
京橋に新スポットが誕生
個性あるまちの
魅力を世界に向けて発信する

中央区観光情報センター 開業



完成イメージ



周辺地域を含めた観光情報が得られる以外にも、区内名産品、風呂敷・ポストカードなどの中央区観光協会オリジナルグッズ、旅行時に便利なトラベルグッズなども購入できる。また、空中散歩する感覚で観光スポットを検索できるデジタルマップが設置され、江戸時代の古地図や昭和20年代または現在の航空写真と重ねて見ることができるのも歴史ある地域ならではの。

センター」は、銀座線京橋駅に直結するビル「京橋エドグラン」内の地下1階と1階に、観光情報提供の拠点としてオープンします。ほかの観光案内施設との情報共有により、他地域の最新の情報も得られるのが大きな特徴で、たとえば、「これから午後の時間で、イベントやおすすめの場所はないか」という問い合わせに対し、「今からであれば、〇〇でこんなイベントをやっていますよ」という生の情報提供が可能になります。

また、施設での観光案内に加え、新たに多言語対応のウェブサイトを立ち上げ、情報発信にも力を入れていきます

す。

観光情報センターでは、区の多彩な魅力を世界に向けて発信しつつ、多言語による対面案内やデジタルマップを活用しながら観光客と一緒に楽しくランニングができるような、おもてなしの接客を行っていきます。

世界最大の「スポーツと平和の祭典」である2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、今後区を訪れる観光客は増加していくことが見込まれ、外国人を含む観光客にとって、区内や周辺地域を観光するための必須の場所として利用されることが期待されます。